

## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月12日

上場会社名 長野計器株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7715 URL <http://www.naganokeiki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 正継  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部担当 (氏名) 角龍 徳夫 TEL 03-3776-5333  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	40,050	8.0	2,351	1.0	2,320	△6.6	1,648	8.9
2018年3月期第3四半期	37,089	19.3	2,328	77.2	2,485	74.7	1,512	150.1

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 708百万円 (△75.2%) 2018年3月期第3四半期 2,855百万円 (178.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	85.01	—
2018年3月期第3四半期	78.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	46,826	23,735	49.3
2018年3月期	47,414	23,565	48.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 23,068百万円 2018年3月期 22,924百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
2019年3月期	—	11.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,380	5.8	3,220	△5.3	3,200	△11.1	2,120	△24.8	109.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	19,432,984株	2018年3月期	19,432,984株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	45,685株	2018年3月期	45,519株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	19,387,404株	2018年3月期3Q	19,387,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、米国では個人消費及び設備投資等が堅調に増加しており、欧州経済においても雇用情勢・所得環境の改善を背景に個人消費は底堅く推移しております。一方、中国経済においては米中貿易摩擦を背景とした輸出の鈍化等により景気は減速傾向にあります。世界経済全体としては緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら米国の保護主義的な通商政策や欧州におけるEU離脱問題等、情勢が見極めづらい状況にあり、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

わが国経済においては、雇用及び所得環境の改善を背景に個人消費が回復基調となったものの、中国経済の減速を背景とした中国向け輸出の減少など増勢鈍化の傾向が見られ、今後の情勢に留意が必要であります。

当社グループでは、圧力計測分野においては半導体業界向や自動車業界向、米国におけるプロセス業界向などの需要が増加しました。このような状況において、売上高は400億50百万円（前年同期比8.0%増）となりました。損益面につきましては、売上高増加の影響により営業利益は23億51百万円（前年同期比1.0%増）、経常利益は為替変動による影響により23億20百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用及び非支配株主に帰属する四半期純利益の計上等により、16億48百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## 圧力計事業

圧力計事業では、国内においては産業機械業界向、プロセス業界向の売上が増加いたしました。米国子会社においては産業機械業界向、プロセス業界向の売上が増加いたしました。

この結果、圧力計事業の売上高は180億98百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

## 圧力センサ事業

圧力センサ事業では、国内においては半導体業界向、産業機械業界向、空調管材業界向の売上が増加し、量産品である建設機械用圧力センサ、自動車搭載用圧力センサの売上也増加いたしました。米国子会社においては産業機械業界向、プロセス業界向の売上が増加いたしました。

この結果、圧力センサ事業の売上高は124億36百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

## 計測制御機器事業

計測制御機器事業では、医療用機器の売上が増加し、工場生産自動化設備用の空気圧機器の売上也増加いたしました。

この結果、計測制御機器事業の売上高は43億46百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

## ダイカスト事業

ダイカスト事業では、自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の売上が減少いたしました。

この結果、ダイカスト事業の売上高は34億45百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

## その他事業

その他事業では、自動車用電装品の売上が増加いたしました。

この結果、その他事業の売上高は17億23百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は468億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億88百万円減少いたしました。主な要因は、たな卸資産及び電子記録債権、建設仮勘定が増加した一方、投資有価証券の時価評価及び現金及び預金が減少したことによります。

負債は230億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億58百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金の借入れにより増加した一方、賞与引当金及び長期借入金、繰延税金負債が減少したことによります。

また、純資産は237億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億70百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が増加した一方、その他有価証券評価差額金が減少したことによります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.0ポイント増の49.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,691,771	4,677,574
受取手形及び売掛金	10,399,403	10,367,724
電子記録債権	1,388,337	1,730,995
たな卸資産	9,023,538	10,093,579
その他	947,294	1,079,292
貸倒引当金	△200,513	△190,443
流動資産合計	27,249,831	27,758,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,815,551	10,876,604
減価償却累計額	△8,519,530	△8,611,288
建物及び構築物(純額)	2,296,021	2,265,316
機械装置及び運搬具	18,741,174	18,847,817
減価償却累計額	△16,482,266	△16,624,965
機械装置及び運搬具(純額)	2,258,907	2,222,852
土地	4,492,830	4,476,718
リース資産	843,377	904,394
減価償却累計額	△359,060	△445,977
リース資産(純額)	484,317	458,416
建設仮勘定	624,340	817,980
その他	4,127,714	4,224,018
減価償却累計額	△3,925,039	△3,958,564
その他(純額)	202,674	265,454
有形固定資産合計	10,359,092	10,506,738
無形固定資産		
のれん	70,917	58,402
リース資産	141,967	118,073
その他	576,627	549,666
無形固定資産合計	789,512	726,142
投資その他の資産		
投資有価証券	7,457,560	6,133,795
長期貸付金	58,120	24,300
退職給付に係る資産	58,449	84,057
繰延税金資産	503,034	583,514
その他	1,014,399	1,080,538
貸倒引当金	△75,049	△71,735
投資その他の資産合計	9,016,514	7,834,471
固定資産合計	20,165,119	19,067,353
資産合計	47,414,950	46,826,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,130,980	4,928,168
短期借入金	5,351,107	5,934,932
1年内返済予定の長期借入金	1,359,537	1,161,343
リース債務	163,815	171,808
未払法人税等	554,012	481,510
賞与引当金	1,155,497	601,091
その他	1,891,795	2,254,694
流動負債合計	15,606,745	15,533,550
固定負債		
長期借入金	4,280,316	3,880,254
リース債務	461,543	405,376
繰延税金負債	823,330	579,469
役員退職慰労引当金	219,150	176,204
退職給付に係る負債	2,328,158	2,358,118
資産除去債務	32,949	32,949
その他	97,406	124,717
固定負債合計	8,242,856	7,557,090
負債合計	23,849,602	23,090,641
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,380,126	4,380,126
資本剰余金	4,448,737	4,448,737
利益剰余金	11,839,340	12,963,918
自己株式	△27,081	△27,263
株主資本合計	20,641,123	21,765,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,165,038	2,358,782
為替換算調整勘定	△421,763	△615,230
退職給付に係る調整累計額	△460,271	△440,411
その他の包括利益累計額合計	2,283,002	1,303,139
非支配株主持分	641,222	666,777
純資産合計	23,565,348	23,735,435
負債純資産合計	47,414,950	46,826,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	37,089,104	40,050,352
売上原価	26,377,691	28,987,662
売上総利益	10,711,412	11,062,690
販売費及び一般管理費	8,382,719	8,711,358
営業利益	2,328,693	2,351,332
営業外収益		
受取利息	39,728	23,153
受取配当金	103,308	111,551
為替差益	56,609	—
持分法による投資利益	101,799	117,983
その他	106,987	98,996
営業外収益合計	408,433	351,684
営業外費用		
支払利息	163,013	167,980
為替差損	—	95,328
その他	88,887	119,317
営業外費用合計	251,900	382,627
経常利益	2,485,226	2,320,389
特別利益		
固定資産売却益	307	36,221
投資有価証券売却益	—	1,222
関係会社出資金売却益	47,219	—
特別利益合計	47,526	37,444
特別損失		
固定資産売却損	15,951	—
固定資産除却損	37,706	10,878
関係会社出資金評価損	20,771	—
特別損失合計	74,429	10,878
税金等調整前四半期純利益	2,458,323	2,346,955
法人税、住民税及び事業税	613,695	588,327
法人税等調整額	178,248	68,526
法人税等合計	791,943	656,854
四半期純利益	1,666,379	1,690,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	153,667	42,062
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,512,712	1,648,038

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,666,379	1,690,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,209,225	△807,056
為替換算調整勘定	△65,392	△170,067
退職給付に係る調整額	41,380	19,860
持分法適用会社に対する持分相当額	4,326	△24,162
その他の包括利益合計	1,189,540	△981,426
四半期包括利益	2,855,920	708,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,695,927	668,077
非支配株主に係る四半期包括利益	159,992	40,597



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	圧力計	圧力センサ	計測制御 機器	ダイカスト	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,663,706	10,898,070	4,250,655	3,618,925	35,431,358	1,657,745	37,089,104	—	37,089,104
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	770	2,933	751	—	4,455	119	4,574	△4,574	—
計	16,664,477	10,901,004	4,251,407	3,618,925	35,435,814	1,657,864	37,093,678	△4,574	37,089,104
セグメント利益	414,597	893,796	408,536	546,855	2,263,786	57,537	2,321,324	7,369	2,328,693

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び自動車用電装品事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額7,369千円は、セグメント間取引消去の金額となります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「計測制御機器」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間より(株)双葉測器製作所の株式取得による連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において83,432千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	圧力計	圧力センサ	計測制御 機器	ダイカスト	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,098,503	12,436,718	4,346,158	3,445,075	38,326,456	1,723,896	40,050,352	—	40,050,352
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,935	42,228	1,757	—	45,920	90	46,010	△46,010	—
計	18,100,438	12,478,947	4,347,915	3,445,075	38,372,377	1,723,986	40,096,363	△46,010	40,050,352
セグメント利益	630,240	908,141	477,164	250,300	2,265,847	81,221	2,347,068	4,263	2,351,332

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び自動車用電装品事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4,263千円は、セグメント間取引消去の金額となります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。